

## 第 122 回 BA エグゼクティブサロン概要

<テーマ> 「身体とコミュニケーションの未来」

<講師> 稲見 昌彦 (いなみ まさひこ)

東京大学先端科学技術研究センター教授。博士 (工学)。

<略歴>

電気通信大学、慶應義塾大学等を経て現職。自在化技術、Augmented Human、エンタテインメント工学に興味を持つ。米 TIME 誌 Coolest Invention of the Year、文部科学大臣表彰若手科学者賞などを受賞。超人スポーツ協会発起人・共同代表。JST ERATO 稲見自在化身体プロジェクト 研究総括。著書に『超人スポーツ誕生』(NHK 出版新書)がある。

<卓話概要>

I o T、人工知能 (A I)、バーチャルリアリティ (V R) など情報技術は目覚ましく発展している。人間は自然環境を物理的に構造化することで農地や都市を形成し、さらには情報的に構造化することで情報環境を構築してきた。しかしながら、物理的あるいは情報的な環境の飛躍的な進展に対し、その環境の中で生活する主体である人間自身の身体に対する我々の考え方、つまり身体観は産業革命以降ほとんど変化していない。本講演は技術が人間の身体観の変化にどう影響を与えてきたか、そして我々の身体観とコミュニケーションは今後どのように変化してゆくのか議論する。

<参考情報>

- ・東京大学先端科学技術研究センター 研究者 稲見 昌彦 URL : [http://www.rcast.u-tokyo.ac.jp/research/people/staff-inami\\_masahiko\\_ja.html](http://www.rcast.u-tokyo.ac.jp/research/people/staff-inami_masahiko_ja.html)

(以上)